

ゲノム創薬基盤推進研究事業： 令和4年度実施機関一覧（1）

領域	研究開発課題名	所属機関名	研究開発代表者	開始年度	終了年度
A ゲノム創薬研究の推進に係る課題解決に関する研究【一般枠】					
A4	バイオバンク利活用推進のための調査研究	岡山大学	森田 瑞樹	R2	R4
B ゲノム情報を活用した新規創薬ターゲットの探索等の基盤整備に関する研究【一般枠】					
B2	RNA標的医薬創出に資する、RNA分子完全長構造に関するデータ基盤の構築	神奈川県立産業技術総合研究所	河合 純	R2	R4
C 網羅的生体情報を活用したゲノム診断・ゲノム治療に資する研究【一般枠】					
C1	小児がんに対する個別化医療を可能にするゲノム基盤情報の構築	東京大学	加藤 元博	R2	R4
C1	薬剤性パーキンソニズムのファーマコゲノミクスに関する医療実装開発	東京大学	佐竹 渉	R4	R6
C2	日本人小児ミトコンドリア病の固有VUSに対する網羅的な機能的アノテーション	順天堂大学	岡崎 康司	R2	R4
C2	発がん関連遺伝子における生殖細胞系列バリエーションのハイスループット機能解析法に関する研究開発	国立がん研究センター	高阪 真路	R4	R6
C2	オルガノイドを活用したPTEN遺伝子VUSの新規評価法の確立	千葉県がんセンター	筆宝 義隆	R4	R6
C2	遺伝性腫瘍に見られるVUSに対する、包括的in vivoスクリーニングとin silico構造解析を融合した高精度機能的アノテーション	岡山大学	細野 祥之	R4	R6

ゲノム創薬基盤推進研究事業： 令和4年度実施機関一覧（2）

領域	研究開発課題名	所属機関名	研究開発代表者	開始年度	終了年度
C 網羅的生体情報を活用したゲノム診断・ゲノム治療に資する研究 【若手育成枠】					
C2	MEFV遺伝子の網羅的なVUS機能的アノテーションと新規Ex vivo assayを用いた患者細胞機能評価・詳細な遺伝子型解析の統合による家族性地中海熱の病態及びパイリンインフラマソーム活性化機構解明	京都大学	本田 吉孝	R4	R6
C2	大規模集団ゲノムデータを利用した遺伝子発現制御文法の機械学習による、VUS病原性の網羅的評価と実験検証	大阪大学	王 青波	R4	R6

ゲノム創薬基盤推進研究事業（タイムライン1）

領域	分野	R2	R3	R4	R5	R6
A ゲノム創薬研究の推進に係る課題解決に関する研究	4. バイオバンク利活用推進のための調査研究	森田班：バイオバンク利活用推進のための調査研究				
B ゲノム情報を活用した新規創薬ターゲットの探索等の基盤整備に関する研究	2. RNA標的医薬の創出に資するRNA統合データベース（スプライシングバリエントや非コードRNA等を包含）の構築のための基盤研究	河合班：RNA 標的医薬創出に資するRNA 分子完全長構造に関するデータ基盤の構築				
C 網羅的生体情報を活用したゲノム診断・ゲノム治療に資する研究	1. ファーマコゲノミクスにより効果的・効率的薬剤投与を実現する基盤研究 【一般枠】	加藤班：小児がんに対する個別化医療を可能にするゲノム基盤情報の構築				
					佐竹班：薬剤性パーキンソニズムのファーマコゲノミクスに関する医療実装開発	

ゲノム創薬基盤推進研究事業（タイムライン2）

領域	分野	R2	R3	R4	R5	R6
C 網羅的生体情報を活用したゲノム診断・ゲノム治療に資する研究	2. 遺伝性疾患のゲノム解析で得られたVUSへの機能的アノテーションに資する基盤研究【一般枠】	岡崎班：日本人小児ミトコンドリア病の固有VUSに対する網羅的な機能的アノテーション		高阪班：発がん関連遺伝子における生殖細胞系列バリエーションのハイスループット機能解析法に関する研究開発 筆宝班：オルガノイドを活用したPTEN遺伝子VUSの新規評価法の確立 細野班：遺伝性腫瘍に見られるVUSに対する、包括的in vivoスクリーニングとin silico構造解析を融合した高精度機能的アノテーション		
	2. 同上【若手育成枠】			本田班：MEFV遺伝子の網羅的なVUS機能的アノテーションと新規Ex vivo assayを用いた患者細胞機能評価・詳細な遺伝子型解析の統合による家族性地中海熱の病態及びパイリンインフラソーム活性化機構解明 王班：大規模集団ゲノムデータを利用した遺伝子発現制御文法の機械学習による、VUS病原性の網羅的評価と実験検証		